

ゆるり

公式 HP



第 3 号

主な活動拠点が東京近郊であるカンパニーの活動は児童劇や一般公演、高齢者施設等でのレクリエーション、その他イベント活動や MC 等々です。それらの活動内容紹介のための不定期発行の広報紙です。

お芝居やさん鈴木 KE 企画カンパニー情報紙 発行年月：2025 年 03 月

発行：お芝居やさん鈴木 KE 企画カンパニー 制作部

お芝居やさん鈴木 KE 企画カンパニーホームページ：https://suzukikekikaku.com

カンパニーの十二月!

「師匠も走り回るほど忙しいと言われる」「師走」。この時期、劇団員は東奔西走。子供たちが毎年楽しみにしているクリスマスを迎え、怒涛の児童劇公演ラッシュを迎えるからだ。

コロナ規制緩和から一年以上経ち、児童館等でも積極的にクリスマス会が行われ、カンパニーに声がかかる機会が増えてきた。カンパニー発足以前から毎年声をかけてくれるところから、今年から新しく縁が繋がったところまで様々だが、そこで待っているのは、いずれも子供たちの喜ぶ声だ。



ウエルカムレンジャー



物知りネコさん



ぶたのトン子の探し物

今年はいソップ物語の「アリとキリギリス」をベースにしたファンタジー「アリとキリギリスと...」が久々の再演。大道具の関係でどうしても天井の高さや会場の横幅に制限がかかってなかなか上演できる機会がなかったが、何とか条件にあう場所に巡り合うことが出来た。昭和のネタに溢れる脚本に令和風のアレンジを加え、平成生まれの第二世代が熱演した。

イソップ物語の「アリとキリギリス」は、夏に一生懸命働いていた「アリ」と、冬を迎えた時にどうなるか、というお話。「アリとキリギリスと...」では、その世界に男の子が迷い込んでしまつて虫の世界を体験する。個人的な虫たちに翻弄される「アキヒコ」はどうなる? というお話だ。異世界物のアニメが流行っている昨今、このお話はある意味流行りものにあたるのかもしれない(笑)



アリとキリギリスと...

九月公演について

怒涛の公演ラッシュを終えた十二月末に忘年会を行い、年明け後初めてメンバー全員が総会に参加した。下半期の反省と、上半期の各自の予定や行事とのすり合わせが主な内容だ。その中で、今年の公演予定について発表があった。

今年九月の中旬ごろ、池袋の「アトリエファンフアール東池袋」にて公演を行う予定。タイトルは「バカは世界が書き下ろし、演出をさとうまことが担当する。詳細については七、八月頃にホームページや「X」、チラシにて公開予定。それ以外にも春に「まねきの部屋」の撮影予定がある。今年のカンパニーも乞うご期待だ。



総会の様子

二月の高校公演ももうすぐ!

二〇二一年の十一月、高校での「らつきよう」初公演を行い、同じ高校で二〇二五年三月に再演予定だ。今回は現代の「海田田翠」役が新しい役者に変更になるが、他はほぼ前回と同じメンバーになる。もともと朗読劇で始めた「らつきよう」は、お芝居にアレンジして小劇場で上演。それを観に来ていた方から「高校生に観せたい。」とお話をいただいた。

舞台は鹿児島県の「知覧」。第二次大戦の敗戦色が強くなってきた頃の「神風特別攻撃隊」に隊員として集められた若者たちの姿を描いている。ちょうどこれから社会に飛び出そうとしてる高校生と変わらない年頃だ。戦争体験者が身近に居ない世代の目にはどう映るのか。コロナ騒ぎで上演が延び延びになった前回。「コロナ対策」をした上で「寒い時期」に「体育館」で行うための試行錯誤をした。今回はその時の経験がより良い方向に生かされ、高校生の皆様により楽しんで貰える事を期待したい。



稽古の様子

むっちゃん先生卒業

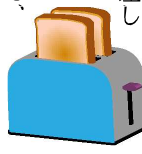
カンパニーでは二〇二三年から月二回、中野区の特別支援センターでのパフォーマンスを行っている。代表取り締まれ役の鈴木と第二世代の中から2、3名で参加者と共に踊ったり、歌ったりクイズをしたり、紙芝居もしたりと盛りだくさん。始めの頃は恥ずかしがっていた人達も、段々と積極的に楽しんでくれるようになってきている。そんな中、「むっちゃん先生」で親しまれていた駒山睦望が、昨年十二月で終了となった。最終日にはセンターの子供たちが「寂しい」と言いに来てくれたり、プレゼントを渡してくれたり、写真撮影を撮りに来てくれたりと心温まる時間を過ごした。今年からは真太と鈴夏が主に担当する。現地には行かないが、駒山も裏方でこっそりと関わる予定。今後の活動が楽しみだ。



最終日のむっちゃん先生

昭和の玉手箱 トースター

ラジオからショッピングの音が聞こえてきた。「大人気のトースターがお買得...」ここで言われているのは「オーブントースター」の事だ。最初の頃は「オーブントースター」をただの「トースター」と聞くと違和感を覚えたものだが、今では当たり前のように聞くようになった。平成以降生まれの人で「トースター」を知っている人はどのくらいいるだろう。6枚切りのパン2枚を縦に差し込み、レバーを下げる。2分程で焼き上がり、ポーンと勢いよく跳ね上がる。トーストするだけであれば、効率良い家電である。



但し、差し込み口の幅に制限がある。4枚切りのパンは焼けない。オーブントースター程応用が利かないからか、今ではすっかり見なくなつた。確かに沢山の機能が付いている方が魅力的だが、レバーを下ろすだけの動作と、ボンと飛び出すパンのおいは懐かしい食卓を思い出させてくれる。黒木美子

今後の活動予定

- 3月 高校公演
- 4月 DM 発送作業
- 5月 まねきの部屋撮影
- 8月 日暮里サマーフェスティバル イベントスタッフ
- 9月 NHCハモニココンサート イベントスタッフ 池袋演劇祭参加

※児童劇活動については不記載

児童劇、イベントスタッフ、MC 等のご相談は

お芝居やさん鈴木 KE 企画カンパニー

お問い合わせはこちら e-mail s-masaya@f5.dion.ne.jp

Tel 03-3395-6394

携帯 090-1819-2216

お芝居に興味ありませんか?

児童劇・一般公演等に出演してみたい方募集中!

公式 SNS : Facebook、X(旧 Twitter) やってます。

検索 お芝居やさん



カンパニー すべしゃる

コロナ禍の自粛期間から1年以上経ち、2024年12月はクリスマス会ラッシュ。そんな中、今年は第二世代のみでの「アリとキリギリスと…」の初公演も。今回は「アリとキリギリスと…」初演メンバーへのインタビューと第二世代の役者紹介を掲載しました。
2025年03月



第二世代出演者

これまで何度か上演された作品ですが、出演者が全て変わる、しかも若返りというのは初めてで、稽古期間も取れない中、演出、スタッフ含めてんやわんや当時使用していた音ソフトも劣化により音が出ない、元音源も何処へ行ったやら…慌てて作り変え。それでも、本番は素晴らしく、新しいエネルギーがたっぷり大事だ

・若手メンバーに
初演時に、一番小さなあり蔵役を私の息子が演じました。あれから二十余年、息子と同じ年代の役者たちで全てを演じる「アリとキリギリス」と…、感慨深いと同時に、新しい



ダンゴムシとキリギリス

・これから児童劇を観る子供達へ伝えたいこと
色んなものを、是非、生で観てもらいたい！そして、同時にそこで観劇する時の社会性も学んでもらいたいですね。

・自分に関わった芝居で一番好きな演目、やりがいがあつた役を教えてください。
やっぱり『らっきょう』ですかね。全ての役が愛おしいです。以前やらせていただいた「翠ちゃん」「横内」今回やらせていただく「早川嫁」全てやりがいがあります。特に横内という役は昔の自分とリンクしていて、ラストの台詞は感情が溢れて何度も泣きそうになってしまいました。らっきょうは本当に大好きな作品なので色んな方に観てもらいたいですね。
カンパニーの魅力は何だと思っ？
何でも受け入れるですかね。お芝居や上下関係以外でも色々な自由を受け入れてくれる温かさのある場所だと思って。
お芝居を好きにさせてくれて、私が苦手だったものを克服させてくれた場所でもあります。家族ではないけど、家族に近い暖かさがある。本当に出会えて良かった場所です。
あの時辞めていても楽しく過ごしていたらどうけど、こんなにも刺激的で暖かい日々は過ぎていかなかったのかなって思います。
こんなに面白い人たちがいるんだよって知らない人達に教えてあげたい！（笑）
今年も鈴木 KE のお芝居やるかも！
皆さんその時は是非観に来てくださーい！

・その頃の思い出などを教えてください。
無料公演は八年続けました。この作品に限らず、様々な可能性を考えて、他劇団とコラボしたり、地元親子に出演を協力していただいたり、場所を変え品を変え、資金もないのに、多様に頑張っていた鈴木 KE 企画の創世記でした。プロレス団体の「三三」の様でした（笑）
・今回、若手メンバーでの初挑戦となった訳ですが、お芝居から受ける印象はだいぶ変わりましたか？
作品の中に出てくる、昭和のベタ芝居をいかに、若い世代に理解させるかということころかな。あと、時代にあつた笑いを捻出する事、これはいつでも難しいですね。
・雅也さんの推しキャラは？
キリギリスとダンゴムシは、かつて私が演じた役なので、改めて推しかもしれませんが、

・「アリキリ」初演はいつ頃ですか？
二〇〇一年頃から、演劇を、身近に「家族で楽しむ娯楽」として根付かせたいという思いから、「地域ふれあい劇場」という看板を掲げ、各児童館をお借りし、無料公演を始めました。この作品は、三回目の今川児童館で発表したものです。
・第二世代が役者で出ている「アリキリ」公演で、こっそり天の声で出演していたカンパニーの代表取り締まられ役の鈴木にインタビュー。
・「アリキリ」初演はいつ頃ですか？
二〇〇一年頃から、演劇を、身近に「家族で楽しむ娯楽」として根付かせたいという思いから、「地域ふれあい劇場」という看板を掲げ、各児童館をお借りし、無料公演を始めました。この作品は、三回目の今川児童館で発表したものです。



鈴木雅也
代表取り締まられ役「アリキリ」初演でキリギリス役を演じている



カマキリ登場



アリとキリギリス

児童劇としては時間が長めの演目ですが、一番の見せ場は？
カマキリの登場部分でしょうか。何せ、上演会場の条件によっては、仕掛けを変える必要がありますのでね（たくさん失敗もしてきました…秘密）

役者紹介



西原鈴夏
にしはらすずか

出身は静岡県。役者の勉強のため、千葉に引っ越し現在に立ち上げるメンバー。友人に誘われフリーマーズに役者として参加した。現在は朗読や演技で役者や裏方、イベントでのMC等で活躍している。



「春太の恋」芝居バージョン



・鈴木 KE との出会いを教えてください。
元々勉強していたプロダクションで一緒だった友人からの誘いです。当時好きなことをやりたい純粋な気持ちと、よくある芸能関係の闇を垣間見たりとで色々な気持ちのぶつかり合いでもうお芝居から離れようとしていた時期だったんです。「辞めちゃうの？何も気にせず楽しくお芝居できる場所があるからとりあえず見てみない？」こんな言葉に引き寄せられ足を踏み入れました。あの時声をかけてくれた友人に感謝です。
・最初に演じた役を教えてください。
二〇一六年頃かな？はつきり覚えてなくて…。初めて出演したのは確か『春太の恋』という可愛らしいお話のヒロイン「麻子」でした。



横内役の『らっきょう』

